

気象予測業務委託（令和 7～10 年度）
業務実施条件書

第 1 条 業務目的

本業務は、名古屋高速道路における雪氷体制を随時適切に判断するため、多様な気象観測データや独自の気象観測データを基に気象予測を実施し、24 時間体制の気象コンサルティングによる雪氷体制推奨情報等を提供するものである。

第 2 条 業務期間

本業務の業務期間は、契約締結日の翌日から、令和 11 年 3 月 23 日（金）までであるが、気象コンサルティング等の実施は、冬期期間（契約期間の 12 月 1 日～翌年 3 月 20 日）とし、上記以外の期間については、次項にある冬期期間に向けた準備、予測精度の向上・検証等を行うものとする。また、冬期期間に実施した業務内容の成果品については当年度末までに提出を行うものとする。

第 3 条 業務内容

（1）気象監視業務

名古屋高速道路管内と雪氷対策上必要となる周辺地域の気象状況を 24 時間体制で監視する。（毎年 12 月 1 日～3 月 20 日）

監視する気象状況は、気象レーダー、アメダス、地上実況天気、受注者の独自観測網、公社が提供する高速道路気象データ等を用いて行うものとする。

なお、高速道路気象データの取得については、受注者の責において確実に実施するものとし、手法等については、監督員と十分協議するものとする。

（2）気象コンサルティング

降雪や急な気象変化などの気象状況の問い合わせに冬期期間（12 月 1 日～3 月 20 日）の 24 時間体制で対応し、必要に応じて資料提供（FAX・メール等）を行う。これらに関する情報については、速報を受注者から遅滞なく連絡すること。

なお、大雪が予想される場合については、除雪・非常体制推薦時における見解伝達の補足として、降雪ピーク時間の予測や、全般的な気象解説等を 1 日 1 回以上、電話または現地訪問、テレビ会議システム等の Web 等を活用し解説する。

（3）Web による気象予測情報提供

下記の①～④の気象予測情報を Web 上で提供し、PC、スマートフォン等の端末にて閲覧可能とすること。

① 72 時間気象予測情報提供

名古屋高速道路の地域的特性の把握に必要な 12 予測地点について、刻々と変わる気象状況を踏まえた上で、毎日 3 回（10：00、16：00、20：00）、冬期期間（12月1日～3月20日）の 72 時間先までの気象予測値（10 予測要素による）を提供するものとする。なお、提供回数は気象状況の変化に応じて 3 時間毎を目安に提供するものとする。

予測地点、予測間隔、予測要素については下記に記述する。

a) 予測地点

- ア 楠周辺 （楠線北部）
- イ 黒川周辺 （楠線中部）
- ウ 丸の内周辺 （都心環状線北部）
- エ 東別院周辺 （都心環状線南部）
- オ 千音寺周辺 （万場線）
- カ 星崎周辺 （大高線）
- キ 大山川周辺 （小牧線中部）
- ク 小牧 I C 周辺 （小牧線北部）
- ケ 高針周辺 （東山線）
- コ 一宮周辺 （一宮線）
- サ 清須周辺 （清須線）
- シ 天白川周辺 （東海線）

b) 予測間隔

1 時間間隔

c) 予測要素

・ 1 時間毎に出す要素

天気、気温、風向風速、降雪量、降水量、路面凍結の有無（無降水凍結含む）

・ 期間トータルとして出す要素

最高最低気温、日中/夜間総降雪量、最大風速

② 週間気象予測情報提供

事前の人員や除雪機械等の確保、通行止め準備等の判断基礎資料のため、向こう一週間先までの気象予測値（5 予測要素による）を毎日 1 回（13：00）提供する。

予測地点、予測間隔、予測要素については下記に記述する。

a) 予測地点

- ア 楠周辺 (楠線北部)
- イ 黒川周辺 (楠線中部)
- ウ 丸の内周辺 (都心環状線北部)
- エ 東別院周辺 (都心環状線南部)
- オ 千音寺周辺 (万場線)
- カ 星崎周辺 (大高線)
- キ 大山川周辺 (小牧線中部)
- ク 小牧 I C 周辺 (小牧線北部)
- ケ 高針周辺 (東山線)
- コ 一宮周辺 (一宮線)
- サ 清須周辺 (清須線)
- シ 天白川周辺 (東海線)

b) 予測間隔

日中・夜間毎

c) 予測要素

- ・日中/夜間毎に出す要素
天気、最高最低気温、最大風速、降雪量、降水量

③ 雪氷体制推奨情報の提供 (判定表)

各種気象データに加えて、名古屋高速道路の構造特性及び名古屋市周辺地域の特性や日々管理隊が調査する路面状態・残留塩分データを踏まえ、より高度化を図った路面の凍結、積雪の予測より公社雪氷体制の推薦を行うものとする。

①と同様の予測地点にて、判定結果を1日2回(16:00、20:00)提供する。なお、残留塩分・路面状態データは Web を利用して公社が入力できるものとする。雪氷体制推奨については、公社の体制区分に合わせて、名古屋地区〔1〕(大高線・東海線)、名古屋地区〔2〕(東山線・万場線・都心環状線)、小牧地区(楠線・小牧線)、一宮地区(一宮線・清須線)の4地区に分けて表示する。

④ その他

- ・本業務で提供される Web を利用した気象予測情報提供ソフトウェアでは、下記の機能を有すること。

- 1) 気象予測値、気象庁データに基づく実況天気図、予想天気図、気象庁短期予報、気象庁週間予報、気象庁レーダー、衛星画像、アメダス等の一般気象情報、及び、マニュアルの提供
- 2) 運用状態を24時間監視し、システム・運用ともにバックアップセンターを備え、有事においても24時間サービス継続できること
- 3) 委託業務の実施に際して、企画提案書等に記載した事項は、原則実施するものとする。ただし、本業務の目的達成のために修正すべき事項がある場合には、特定者と公社の協議の上内容を変更することがある。
- 4) 本業務実施条件書に疑義が生じた場合は、監督員との協議によるものとする。

(4) 気象予測精度向上に向けた実施検証及び改善提案

① 冬期期間の予測精度検証及び次年度に向けた改善提案

本業務で実施した気象予測情報や雪氷体制推薦情報等と実際の結果について、比較検証を行い、次年度以降の精度向上のため、課題整理及び改善提案を行うものとする（雪氷体制における予測閾値の変更、冬型大雪パターンの検討、路面の凍結、積雪の予測精度向上等を含む）。

② 公社気象データ取得運用作業

公社が管理する高速道路の気象観測装置の観測データ（観測項目は以下に示す）を取得し、予測業務の向上を図る。

（取得する気象データ：6項目） 気象観測局・・・「気温」、「雨量」、「風向」、「風速」
凍結観測局・・・「路温」、「路面状況」

③ 気象勉強会の開催

毎年、雪氷期間開始前（1回）に公社雪氷関係者向けの勉強会を開催するものとし、気象状況の傾向、雪氷期間内のサービス内容等を説明するものとする。なお、勉強会の資料については監督員に確認の上、決定するものとする。

④ 高速道路影響情報サイト

大雪時等において、高速道路の交通状況等を広報するため、高速道路影響情報サイトの登録にかかる費用を含むものとする。

(5) 業務報告書の作成

上記（1）～（4）の業務内容において、報告書を作成する。

第4条 業務の進め方

本業務の遂行にあたっては、下記事項に十分留意するものとする。

- 1) 適正な業務の遂行を図るため受注者は常に綿密な連絡をとること。また、その都度議事録を作成し、相互に確認する。
- 2) 受注者は業務内容を十分に把握したうえ、契約締結後速やかに業務実施計画書を作成し、発注者に提出すること。業務実施計画書には、業務概要、実施方針、工程表、業務体制、打合せ計画、成果品等の記載方法について明確にすること。
- 3) 受注者は提出した業務実施計画書に基づき業務を処理するものとし、監督員の指示に従い、作業の進捗状況を報告すること。
- 4) 受注者は、業務の区切りにおいて打合せを行い、監督員の確認、承諾を得ること。
- 5) 本業務を遂行する上で必要な提出書類は、監督員へ提出すること。

第5条 成果品

本業務の成果品は次のとおりとする

1. 業務報告書（A4版） 4部
2. その他監督員が必要と認めた資料

第6条 その他

本業務遂行上生じた疑義については、監督員と事前に協議し、明確にすること。